

In depth

A look at current financial reporting issues

pwc

No. US2018-19
September 20, 2018

公正価値の開示要求の変更 FASBが一部の開示を削減

目次

公開企業.....	1
削除.....	2
修正.....	2
追加.....	3
非公開企業.....	4
削除.....	4
修正.....	4
ASU2018-13の移行措置 および発効日.....	5

要点

2018年8月に公表された米国財務会計基準審議会(FASB)の新ガイダンスは、公開企業および非公開企業の公正価値の開示要求を変更しています。開示の一部は削除または修正されましたが、追加された開示もあります。新ガイダンスは、財務諸表の注記開示の有効性の改善を目的とした開示の有効性プロジェクトで開発された原則をFASBが検証した成果です。

特定の開示の削除および修正は、即時適用が可能です。適用は遡及的に行います。そのため企業は、これらの事項の開示を、次回の財務諸表における当期および比較期間の両方について中止することができます。12月決算の公開企業について、追加開示の発効日は2020年1月1日となります。

FASBの新ガイダンスである、会計基準アップデート(ASU)2018-13「公正価値測定(Topic 820):開示フレームワーク-公正価値測定の開示要求に対する変更」は、公開企業および非公開企業の公正価値の開示に影響を与えます。

公開企業

削除

公開企業について、ASC820 から、以下の開示要求が削除されました。

	現行の開示要求	コメント
公正価値ヒエラルキーのレベル1とレベル2の間の振替 レベル間の振替のタイミングに関する方針	<p>報告期間の末日時点で保有している資産および負債の経常的な公正価値測定について、以下を開示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> レベル1とレベル2の間の振替金額 <input type="checkbox"/> 振替の理由 <input type="checkbox"/> 振替が発生した時点を決するための報告企業の方針 	<p>開示は要求されなくなるが、振替の発生時期に関する報告企業の方針による実務上の便法は引き続き存在し、企業はその方針に首尾一貫して従わなければならない。</p>
レベル3の公正価値測定に関する評価プロセス	<p>レベル3の公正価値測定について、使用した評価プロセスの説明（例えば、企業が評価方針および手続をどのように決定しているか、ならびに期間ごとの公正価値測定の変動をどのように分析しているかを含む）。</p>	<p>会計基準コード化体系(ASC) 820-10-50-2は、引き続き、公正価値ヒエラルキーのレベル2およびレベル3に該当する金融商品のクラスごとに、評価に使用した評価アプローチと評価技法を開示することを報告企業に要求している。</p>

修正

公開企業について、ASC820 における以下の開示要求が修正されました。

	現行の開示要求	修正された開示要求	コメント
投資先の資産の清算時期の開示	<p>償還はできないが、原資産の清算を通じて報告企業が分配を受ける投資のそれぞれのクラスについて、原資産が投資先により清算されると見込まれる時期を開示する。</p>	<p>投資先が報告企業に清算時期を伝えている場合や清算時期を一般に公表している場合を除き、清算の時期が不明である場合には、清算の時期を開示する必要はない。</p>	
測定の不確実性	<p>経常的なレベル3の公正価値測定について、重要な観察不能インプットの使用による報告日時点の公正価値測定の感応度に関する記述的説明。</p>	<p>将来の変更に対する感応度ではなく、報告日時点の測定の不確実性についての記述的説明。</p>	<p>FASBは、開示要求は報告日における測定の不確実性に関するものであることを明確にした。</p> <p>観察不能なインプットの変動により測定日現在の公正価値測定が著し</p>

			<p>く異なることとなる場合、企業は、その変更の潜在的な影響を説明する必要がある。企業は、異なるインプットの使用から将来生じる可能性のある公正価値の変動を考慮する必要はない。</p>
--	--	--	---

追加

公開企業について、ASC820 に、以下の開示要求が追加されました。

	現行の開示要求	追加された開示要求	コメント
<p>経常的なレベル 3 の測定について、その他の包括利益 (OCI) に含まれている未実現損益の変動</p>	<p>期末時点で保有されている経常的なレベル 3 の公正価値測定について、当期の純損益に含まれている未実現損益の変動、および当該未実現損益が認識されている損益計算書の表示科目</p>	<p>当期の純損益に含まれている未実現損益の変動に加えて、当期のその他の包括利益に含まれている未実現損益の変動、および当該未実現損益が認識されている包括利益計算書の表示科目を開示する。</p>	<p>新たな開示には、従来収集されていなかった追加的な情報の収集が必要となる場合がある。</p>
<p>重要な観察不能インプットの範囲および加重平均</p>	<p>レベル 3 の公正価値測定について、公正価値測定に用いられたすべての重要な観察不能インプットに関する定量的情報(「重要な観察不能インプットの表」)。</p>	<p>重要なインプットの表において、重要な観察不能インプットの範囲と加重平均、およびその計算方法を開示する。</p>	<p>これは、異常値の影響を低減することを意図している。ポートフォリオのようにみなした加重平均は、異なる報告企業の開示内容の比較に役立つ。</p> <p>加重平均が特定の資産のクラス(例えば、デリバティブ)にとって意味をなさない場合、報告企業は、インプットの「分布を反映するより合理的かつ意味をなす方法」である代替的な定量的情報を開示することができる。</p>

非公開企業

非公開企業(ASC820-10-20 で定義)は、公開企業に適用される開示要求の削減および修正と同じ便益に加え、以下の2つの修正による便益を受けます。非公開企業のASC820の開示要求には追加はありませんでした。

削除

	現行の開示要求	コメント
経常的なレベル3の投資について、純損益に含まれている未実現損益の変動	報告期間の末日時点で保有しているレベル3の経常的な公正価値測定について、当期の純損益に含まれている未実現損益の変動	公開企業については、FASBは、OCIに含まれている未実現損益の変動を開示する要求事項を追加した。非公開企業について、FASBは、そのような開示を追加せず、純損益に含まれている未実現損益の変動に関する既存の開示を削除する選択を行った。

修正

	現行の開示要求	修正された開示要求	備考
レベル3のロールフォワード(調整表)	レベル3の経常的な公正価値測定について、期首残高と期末残高の調整表。	(公開企業について引き続き要求される)レベル3の商品の完全な調整表の代わりに、非公開会社は、以下の開示が要求される。 <input type="checkbox"/> 購入および発行(それぞれ区分して開示) <input type="checkbox"/> レベル3への(からの)振替および振替の理由	公開企業と同様、非公開企業は、振替の発生時期の決定に関する方針に首尾一貫して従わなければならない。また、レベル3への振替をレベル3からの振替と区分して開示しなければならない。

ASU2018-13の移行措置および発効日

報告企業は、即時に、今後要求されない開示を削除し、修正された開示を適用することができます。適用は遡及的に行います。したがって、企業は、これらの変更を次回の財務諸表に早期適用することを選択でき、表示されているすべての期間について適用します。

すべての公開企業および非公開企業について、発効日は、2019年12月15日より後に開始する事業年度および当該事業年度に含まれる期中報告期間になります。他の修正について早期適用を選択した場合でも、追加開示についての早期適用は要求されません。

新たに追加された、OCIに含まれている未実現損益、重要な観察不能インプットの範囲および加重平均の開示要求、ならびに修正が行われた、測定の不確実性に関する記述的説明の要求事項は、将来に向かって適用しなければなりません。

お問い合わせ

本資料に関して質問があるPwCのクライアントの方は、担当のエンゲージメント・パートナーまでお問い合わせください。

© 2018 PwC. All rights reserved. PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors. To access additional content on financial reporting issues, visit www.cfodirect.pwc.com, PwC's online resource for financial executives.